

本調子

乙 五[#] 七[#] 九[#] 尺[#] 九[#] 七[#] 八[#] 八[#] 合[#] 七[#] 七[#] 上[#] 工[#] 七[#] 四[#] 八[#] 四[#] 伏[#] 九[#] 四[#] 七[#] 五[#] 工[#] 合[#] 四[#] 乙

乙
五
七
九
九
七
五
乙
王
七
七
七
乙
八
尺
四
尺
五
七
九
九
五
上
九
九
八
七
七
八
九

乙[#]九[#]九[#]上[#]八[#]七[#]七[#]四[#]尺[#]四[#]尺[#]合[#]五[#]七[#]九[#]狂[#]狂[#]五[#]

九[#]八[#]七[#]工[#]四[#]上[#]

七[#]七[#]七[#]四[#]七[#]七[#]

上七七四九五七五七九尺八尺七尺八尺五七九尺八七

	尺	#七
	八	#八
	七	七
	七	#七
	八	#八
	伍	#七
	七	#七
	八	#七
	九	#九
	尺	#八
	八	#七
	七	#七
	尺	#八
	四	
	五	#五
	七	#七
	七	#七
	八	#八
	九	#九
	尺	
	尺	#五
	五	#七

九[#]九[#]八[#]七[#] 𠂔[#]五[#]七[#]七[#]七[#]八[#]七[#] 乙[#]乙[#]中[#]尺[#]七[#] 合[#]尺[#]尺[#]七[#] 合[#]尺[#]尺[#]七[#] 合[#]七[#]八[#] 𠂔[#]合[#]七[#]五[#]七[#]

#合	#七	#八	#狂	#合	#八	#七
#工						
王	王	王				
#王	王					
	王	王				
#工						
#乙						
#工	#上	#上				
	王					
#乙						

風をあつめて (Hard tune)

本調子

2/4

乙[#]工[#]乙[#]合[#] 尺[#] 合[#] 尺[#] 上[#] 尺[#] 尺[#] 乙[#] 合[#] 合[#] 乙[#] 乙[#] 乙[#] 尺[#] 尺[#] 尺[#] 尺[#]

上[#]上[#]合[#]工[#]工[#]合[#]尺[#]合[#] 上[#] 尺[#] 尺[#] 乙[#] 合[#] 合[#] 乙[#] 乙[#] 乙[#] 尺[#] 尺[#] 尺[#] 乙[#]

乙[#] 尺[#] 七[#] 尺[#] 上[#] 乙[#] 七[#] 尺[#] 尺[#] 五[#] 乙[#] 尺[#] 工[#] 五[#] 上[#] 尺[#] 尺[#] 上[#] 尺[#] 乙[#] 尺[#] 尺[#] 上[#] 尺[#] 八[#] 尺[#]

尺[#] 尺[#] 五[#] 尺[#] 乙[#] 尺[#] 工[#] 五[#] 尺[#] 上[#] 尺[#] 工[#] 尺[#] 上[#] 尺[#] 尺[#] 尺[#] 尺[#] 上[#] 尺[#] 尺[#] 上[#] 尺[#] 尺[#] 工[#] 工[#]

五[#] 工[#] 尺[#] 上[#] 尺[#] 上[#] 合[#] 七[#] 七[#] 八[#] 五[#] 工[#] 尺[#] 上[#] 尺[#] 上[#] 七[#] 七[#] 八[#]

五[#] 工[#] 尺[#] 上[#] 尺[#] 上[#] 七[#] 乙[#] 尺[#] 尺[#] 上[#] 尺[#] 尺[#] 上[#] 尺[#] 上[#] 尺[#] 上[#] 乙[#] 尺[#]

四[#] 上[#] 尺[#] 乙[#] 中[#] 尺[#] 七[#] 合[#] 尺[#] 尺[#] 七[#] 合[#] 尺[#] 尺[#] 七[#] 尺[#] 尺[#] 五[#] 五[#] 尺[#] 五[#] 尺[#] 上[#] 尺[#] 五[#] 五[#] 尺[#] 五[#] 尺[#]

乙[#] 尺[#] 中[#] 七[#] 乙[#] 中[#] 尺[#] 七[#] 合[#] 尺[#] 尺[#] 七[#] 合[#] 尺[#] 尺[#] 七[#] 尺[#] 尺[#] 五[#] 五[#] 尺[#] 五[#] 尺[#] 上[#] 尺[#] 五[#] 五[#] 尺[#] 五[#] 尺[#]

風をあつめて (Hard tune)

本調子

3 / 4

乙 尺 中 七 乙 中 尺 七 合 尺 尺 七 合 尺 尺 七 合 尺 尺 七

舗道をひたすのを見たんです
それで ぼくも

風をあつめて 風をあつめて 風をあ
つめて 風をあつめて (Hard tune)
蒼空を翔けたいんです
蒼空を

本調子

4/4

一、街のはずれの

背のびした路次を 散歩してたら

汚点だらけの 靄ごしに

起きぬけの 露面電車が

海を渡るのが 見えたんです

それで ぼくも

風をあつめて 風をあつめて 風をあ

つめて

蒼空を翔けたいんです

蒼空を

とても素敵な

味爽どきを 通り抜けてたら

伽藍とした 防波堤ごしに

緋色の 帆を掲げた都市が

碇泊してるのが 見えたんです

それで ぼくも

風をあつめて 風をあつめて 風をあ

つめて

蒼空を翔けたいんです

蒼空を

人気のない

朝の珈琲屋で 暇をつぶしてたら

ひび割れた 玻璃ごしに